

クイックスタートマニュアル

型式名：KC260MX

取扱説明書



- この「クイックスタートマニュアル」は使用方法の要点をまとめたものです。まず最初に左の2次元コードより「取扱説明書」を必ずお読みになってからご使用ください。同梱の「安全マニュアル」も必ず併せてお読みください。
- 2次元コードが読めない場合は、型式名で検索をしてください。

🔍 KC260MX 取扱説明書 (例)

- 本マニュアルは必要なときに2次元コードにすぐアクセスできるよう、大切に保管してください。
- 本マニュアルが損傷や紛失により読めなくなった場合は、ご購入の販売店からお買い上げください。
- 印刷された「取扱説明書」をご希望の方は、ご購入の販売店からお買い上げください。

(取扱説明書 品番561109)

2次元コードより「取扱説明書」を必ずお読みになってからご使用ください。

当サイトにおいて電子データで提供しております取扱説明書については、以下のすべての条件にご同意いただいた上でご利用をお願いいたします。

- ・当サイト上の取扱説明書の内容は、製品の仕様変更等により予告なく変更される場合があります。また、製品購入時に当サイトに掲載されている取扱説明書の内容と異なる場合があります。表記内容は、発行当時の情報であり、弊社純正部品の名称、事業所の名称、所在地などの情報が現在と異なる場合があります。また、取扱説明書に記載された安全に関する注意事項は、取扱説明書作成時点での法的基準や業界基準に沿った内容となっており、記載内容が最新の内容とは異なる場合がありますので予めご了承ください。
- ・製品に取扱説明書を補足する印刷物が同梱されていることがありますが、当サイトではそれらの印刷物は掲載していない場合がありますので予めご了承ください。
- ・当サイトのサービスの利用、または利用できなかったことにより万が一損害が生じても、弊社は一切責任を負いません。また、本サイトのサービスは予告なく中止、または内容等を変更する場合がございますのでご了承ください。
- ・当サイト上の取扱説明書については、株式会社丸山製作所が著作権その他の知的財産権を保有します。弊社の許可なくその内容の一部、または全ての複製、改ざん、転載を禁じます。

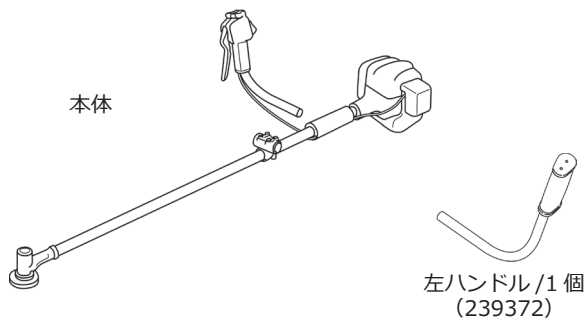
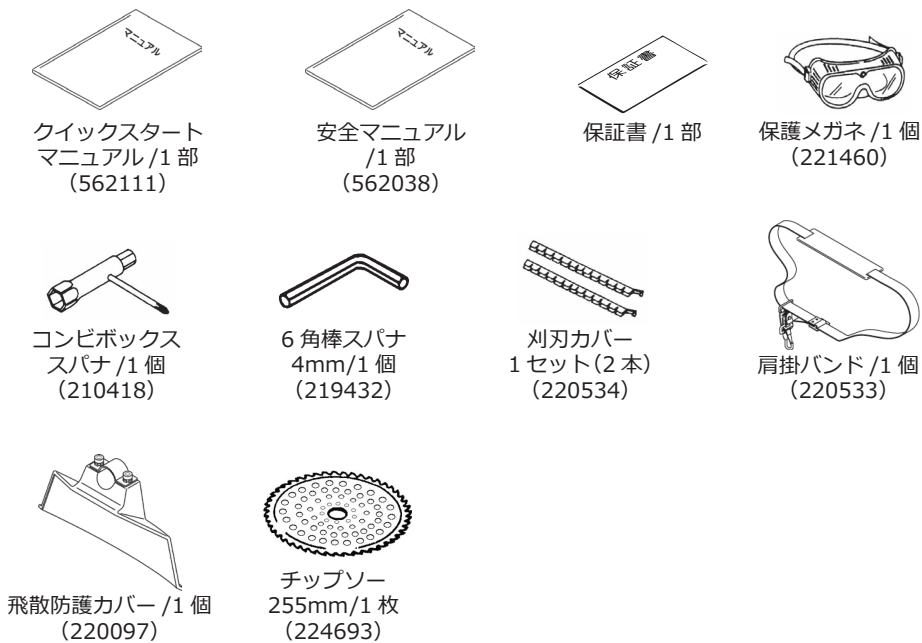
1. 梱包品

梱包品の確認

開梱時に下図を参照して部品が揃っているか、破損や変形はないかを確認してください。問題がある場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。

《全機種共通の梱包品》

()内は部品番号です。

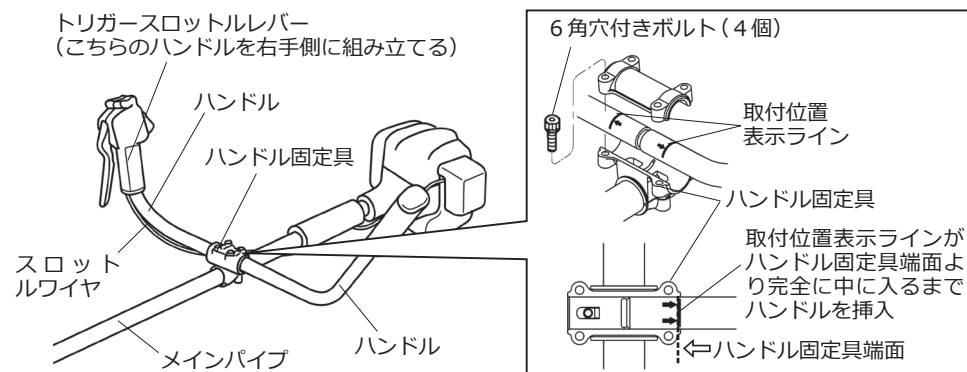


2. 組み立て

(1) ハンドルの組み立て

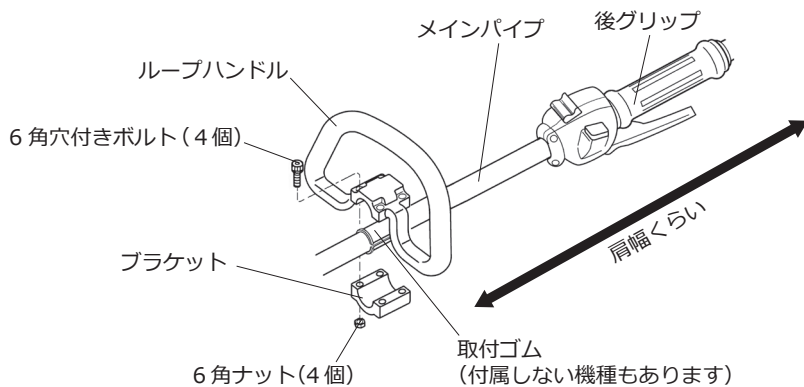
1) 両手ハンドル

- ① 左右のハンドルを、ハンドル固定具端面より完全に中に入るまで挿入してください。
- ② 付属の6角棒スパナ(4mm)で6角穴付きボルトを片締めにならないように確実に締め付けてください(締め付けトルク4~5N・m)。



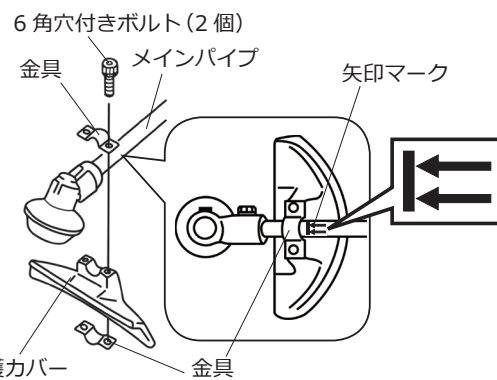
2) ループハンドル

- ① 取付ゴムを割りの部分が横(水平)になるようにメインパイプに巻き付け、その上からループハンドルとブラケットで挟んでください(取付ゴムは付属しない機種もあります)。
- ② 付属の6角棒スパナ(4mm)で、均等に締め付けてください(締め付けトルク2~3N・m)。

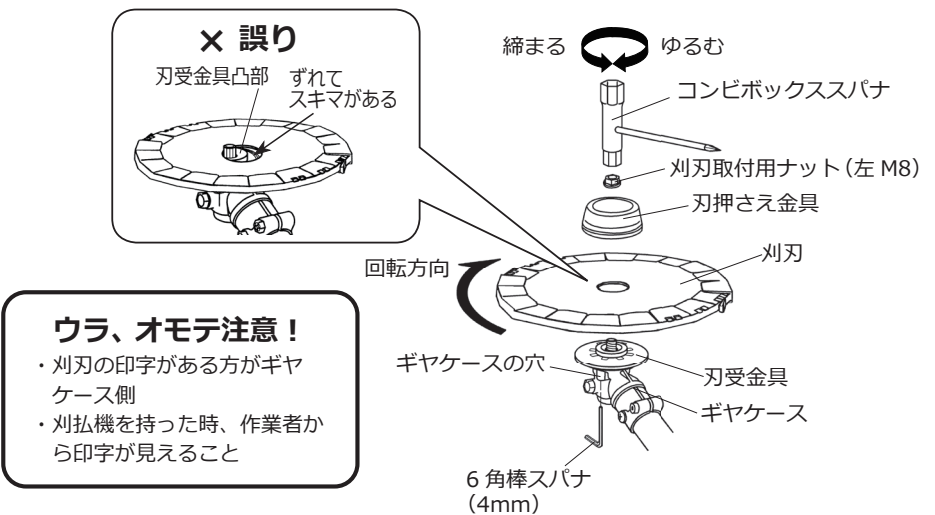


(2) 飛散防護カバーの取り付け

- ① メインパイプの矢印マークの位置に飛散防護カバーを、図のように上下から金具で挟んでください。
- ② 付属の6角棒スパナ(4mm)で6角穴付きボルトを均等に締め付けて固定してください(締め付けトルク4~5N・m)。



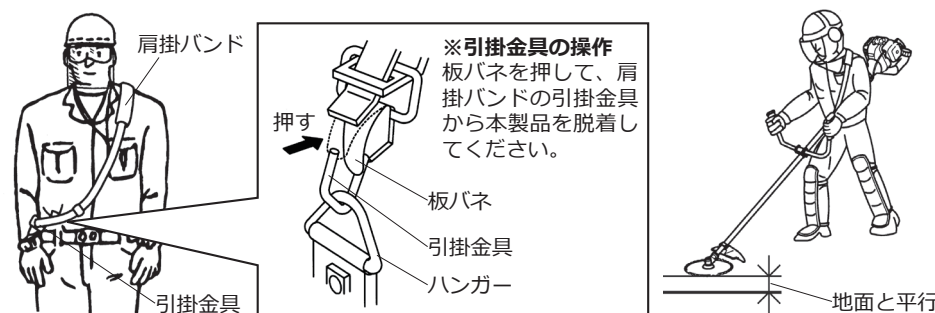
(3) 刈刃の取り付け



(4) 肩掛バンドの装着と調整

1) 肩掛バンドの装着と調整

本製品を体の右側に吊り下げ、図のように刈刃が地面と平行となるように、バンドの長さを調整してください。

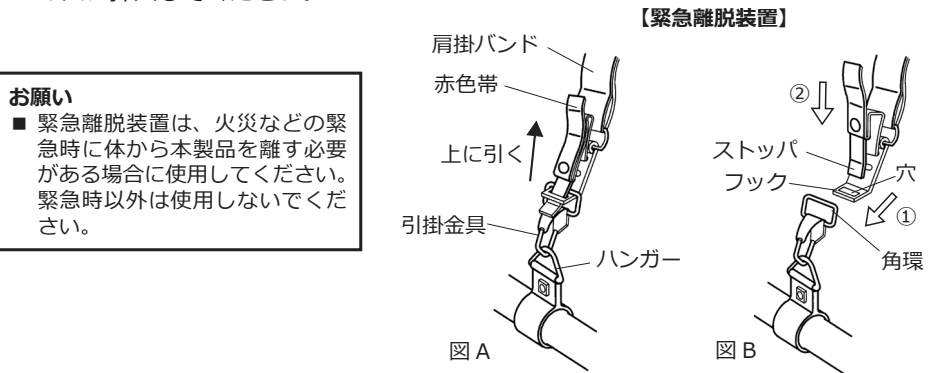


2) 緊急離脱装置の使い方

肩掛バンドの緊急離脱装置は図Aのように赤色帯を上につくと、本製品が肩掛バンドから離れます。作業の前にエンジンを停止した状態で、安全な場所で操作の練習をしてください。

※緊急離脱装置の組み立て方

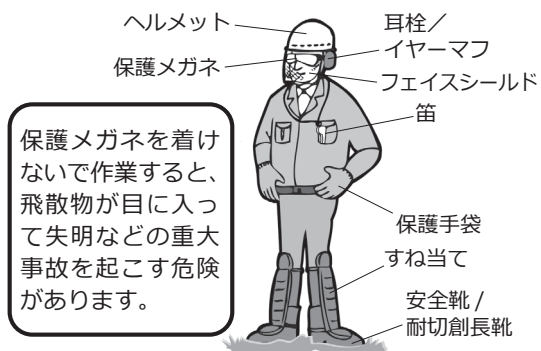
図Bの矢印①の方向からフックを角環に通し、矢印②の方向からストッパをフックの穴に挿入してください。



3. 安全作業

1 作業の服装と防護具

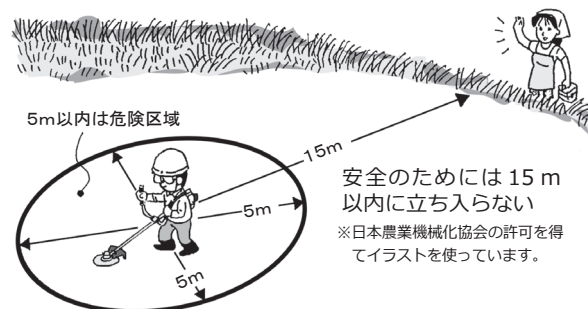
図のような各種防護具を着用しましょう。目を保護する保護メガネなども必ず使用してください。



3 草の刈り取りかた

【複数での作業】

作業中は作業員から5m以内を危険区域とし、絶対に他人が入らないようにしましょう。さらに15m以内に他人が立ち入らないようにするとより安全です。



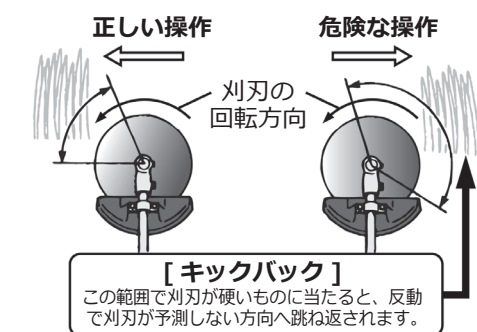
【高温注意】

刈払機後方1m以内の物は焼損し、火災を起こすおそれがあります。エンジンが接近すると、やけどに至るおそれや排気ガスを吸引するおそれがあります。



【刈りかた】

刈払機は常にヒザより低い位置で作業し、右図のように刃の左上部で刈ることが基本です。刈り取りは右から左へ振りながら刈りましょう。



5 使用前のチェック

【刈刃の取付点検】

刈刃の損傷・変形の有無を点検し、異常があれば新しい刃と交換してください。刃受金具、刃押え金具または安定板、ボルト、ナットのゆるみと摩耗を点検してください。交換は付属工具を使用し、刃の表裏や刃受金具の凸部からずれないように注意してください。



刈払機の正しい使い方



2 作業前のチェック

【作業前の障害物除去】

作業場所の障害物（空缶、空ビンなど）は取り除きましょう。刃の当たりかたによっては、刃こぼれ・障害物の飛散を引き起こします。

6 燃料の用意

市販の混合燃料は、あらかじめガソリンとオイルが混合されているので、そのまま給油できます。右記の通り、弊社オプションでもご用意しております。

市販燃料を使わずご自身で燃料を混合される場合は、無鉛ガソリンに市販の2サイクルエンジンオイル（※）を下表の割合で混合し、使用してください。

■燃料混合表

ガソリン	オイル（※）
50	1
ガソリン1Lの場合はオイル 20mL	
ガソリン5Lの場合はオイル100mL	

7 エンジンの始動・停止について

(1) エンジンの始動

- ① ストップスイッチを（-）側にしてください。
- ② プライマポンプを矢印側から押す・離すの操作を、10回程度繰り返し行ってください。オーバーフローパイプから燃料タンクに混合燃料が戻ります。
- ③ チョークレバーを|N|（閉）側にしてください。
- ④ 本製品が動かないように本体ニギリ（後グリップ）を握り、しっかりと押さえてください。
- ⑤ リコイルスタータノブをゆっくり引いてください。引いていくと、ロープに目印線が出てきます。その目印線まで引いて、ゆっくりスタータノブを戻してください。その後スタータノブを戻し始めると、そのことをスタータが感知してエンジン始動が始まります。

お願い

- リコイルスタータノブは強く引いたり、早く引いたりする必要はありません。ロープの目印までスムーズに引き、スムーズに戻してください。

お知らせ

- リコイルスタータノブを戻したときロープが引き込まれず、たるんでしまった場合や引き始めから引き力が大きく感じるときは5～10cmほど強めにリコイルスタータノブを引くと正常に戻ります。

- ⑤ エンジンが始動したら、ゆっくりチョークレバーを|H|（開）の位置に戻してください。



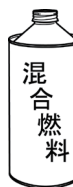
※ エンジンが始動しない場合は下記の操作をしてください。

- 爆発音が生じエンジンがすぐに止まったときは、チョークレバーを|H|（開）側にし、さらにリコイルスタータノブを引いて始動してください。
- リコイルスタータノブを3回程度引いても爆発音が生じない、または聞き逃した場合は、チョークレバーを|H|（開）側にしエンジンが始動するまで数回リコイルスタータノブを引いてください。

- エンジンが暖まっている場合、チョークレバーは、常に|H|（開）の位置にしてください。

必ず、混合燃料を使用!

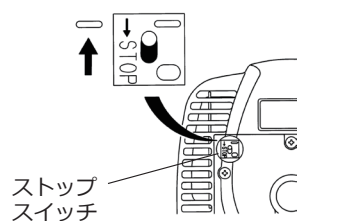
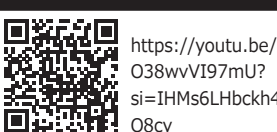
ガソリンだけではエンジンが焼付きます



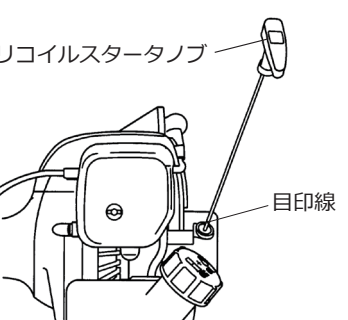
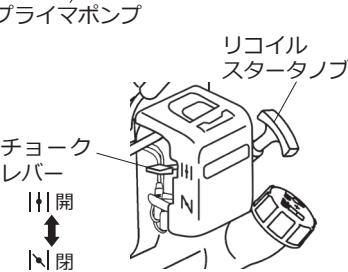
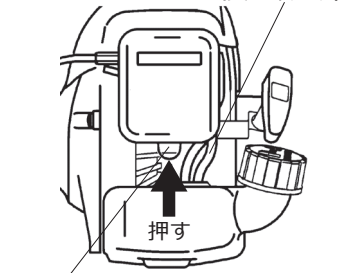
5年保存タイプ
1L (464087)
2L (464088)
4L (464089)
()内は部品番号です。

- 2サイクルエンジンオイル（※）は、JASO 性能分類のFDまたはFC級をお使いください。

エンジンの始動の仕方

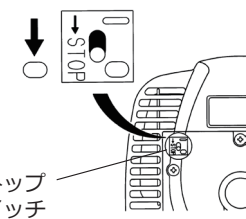


オーバーフローパイプ（黄色半透明）



(2) エンジンの停止

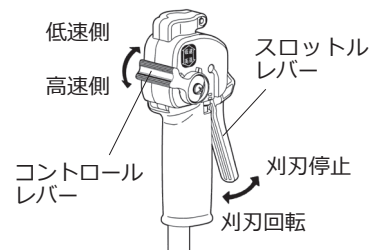
- ① ストップスイッチを、(O) STOP 側にしてください。



8 エンジンの運転について

1) 刈刃の回転

- ① 両手で保持し、スロットルレバーを握ってください。
- ② コントロールレバーを高速側にゆっくりと移動させると、エンジン回転速度が徐々に上がり、刈刃が回り始めます。刈刃の回転が適切になるように、コントロールレバーの位置を設定してください。（コントロールレバーが低速側いっぱい位置のままでは、スロットルレバーを操作しても刈刃の回転は上がりません。）回転を上げる場合は急激に上げずに、徐々に回転を上げてください。



2) 刈刃の停止

- ① コントロールレバーを低速側いっぱいに戻す、またはスロットルレバーを手から離すと、エンジン回転速度はアイドリング状態になります。刈刃はしばらく惰性で回転した後、停止します。
- ② 作業後は必ずコントロールレバーを低速側に戻してください。

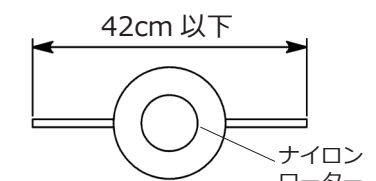
作業時のエンジン回転は、右表を目安にして草の状態に合せ調節をしてください。

作業中に回転がとまってしまうような高負荷作業を行うとクラッチの異常加熱により故障の原因になります。

刈刃の種類	スロットルレバー位置
金属刃	全開の7～8割
ナイロンローター	全開

【ナイロンローター】

ナイロンローター使用時は、エンジン回転速度を全開にして作業を行ってください。ナイロンコードの長さは右図のようにコードの端から端まで42cm以下にしてください。



4. 転売・譲渡・廃棄

- 本製品を転売・譲渡する場合は、「本マニュアル」「安全マニュアル」も同時に譲渡してください。取扱方法についてよく説明し、本マニュアルの2次元コードリンク先の取扱説明書をよく読むように指導してください。
- 保証書も同時に譲渡してください（保証期間内の場合）。

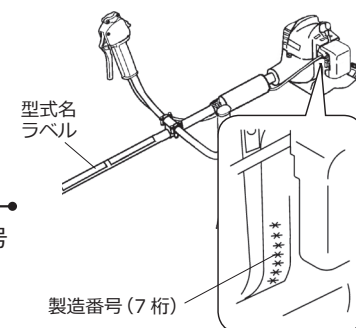
本製品に関するお問い合わせなどは、ご購入の販売店にご相談ください。または、下記の全国共通の無料通話あるいは丸山製作所ホームページでもお受けいたします。

丸山サポートセンター
無料通話 0120 - 898 - 114
丸山サポートセンターホームページ
https://maruyama-support.jp/
受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）



本製品に関してのお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、あらかじめ、右記の事項をご準備ください。

- ① 型式名、製造番号
- ② ご購入年月日
- ③ 販売店名



修理依頼、補修用部品・オプションのご注文は、ご購入の販売店または取扱店へ依頼してください。



株式会社丸山製作所

本社 / 東京都千代田区内神田 3-4-15 〒101-0047

P/N. 562111-02 25.2